

編集後記

昨年、教育特集号を企画したところ学内から4報の寄稿を頂いた。その余勢か今回新たに3報の論考を頂いたので、通常号に掲載することとした。

もちろん、教育関係の論文が増えるのは歓迎すべきことであるが、フォトンクス関係の論文をより充実させるべきであるとの意見もあろうかと思う。しかし、教員の多くは、学会誌をはじめとする専門誌に原著論文を寄稿していることでもあり、重複させるわけにもいかない。CIFについてはこれまでプロシーディングスを毎回刊行していたが、今回よりネット上の公開を行うことになった。統合してもよさそうなものだが、CIFは学外からの参加も多いため、研究所紀要とするのはやはりそぐわないだろう。当面紀要は紀要、CIFはCIFで別途発行を続けることになる。すなわち紀要では学内の成果を中心に広く発信していきたいと考えている。その際フォトンクスを狭くとらえることはしない。

フォトンクス研究所紀要という名と、実態の乖離を心配する向きもあろうかと思われる。大げさに言うとフォトンクス研究所紀要のアイデアが存するのか、名辞に過ぎないのか、まあプラトンとアリストテレスの違いのようなものと思っている。編者である小職の立場は明らかであろう。

先例を以て弁明すると、文藝春秋はいつから文芸誌ではなくなったのだろうか。そもそも春秋も国家の年代記を意味していたものがいつか広く書物を指すようになったらしい。フォトンクス研究所も設立以来八

年を聞いているが、その活動内容も年々変わってきていることは、学内諸賢の熟知するところである。

本学も平成三十一年（元号はこの年に変わるはずであるが）の公立化に向けて、着実に進みつつあるように見受けられる。その過程で新たな変貌もあるだろうが、むしろ発展の契機ととらえたい。（YK生）

編集委員

川辺 豊 (委員長)
カートハウス オラフ
下村 政嗣
佐々木 慎也
山林 由明
唐澤 直樹
大越 研人
小田 久哉
大沼 友一郎
仲俣 里美

編集庶務担当

柏倉 喜美子
平沖 明子

千歳科学技術大学 フォトンクス研究所紀要 第8巻 第1号

平成30年3月15日発行 通巻9号

編集 フォトンクス研究所紀要編集委員会
発行者 千歳科学技術大学
〒066-8655 北海道千歳市美々758-65
電 話 0123-27-6044